

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

体を動かし使い方を知って、運動を楽しむ

<テーマの設定理由>

聖園幼稚園には、安全に体を動かせる広いホールや園庭、自然を感じられる中庭など、のびのびと活動できる環境が整っている。子ども達は鬼ごっこや追いかけっこが大好きだが、以前に比べ近年は、体を動かす機会が少なく、体の使い方に不安が見られる子どもも増えてきている。そこで、体操を通して遊びながら体の動かし方を知り、「できた」「もっとやってみよう」という気持ちを育てたいと考えた。活動を重ねる中で、子どもたちは友達と動きをまねしたり、挑戦したりしながら、体を動かすことの楽しさを感じ、意欲的に取り組む姿が見られている。

## 2. 活動スケジュール

年中組	年長
4月 ・体操時のお約束 ・マット運動	4月 ・体操時のお約束 ・マット運動
5月 ・マット運動	5月 ・マット運動
6月 ・跳び箱	6月 ・跳び箱運動
7月 ・1学期まとめ	7月 ・運動会練習
9月 ・鉄棒運動	9月 ・運動会練習
10月 ・鉄棒運動	10月 ・運動会練習
11月 ・短縄運動	11月 ・鉄棒運動
12月 ・大縄跳び	12月 ・大縄運動
1月 ・大縄跳び	1月 ・大縄運動
2月 ・ボール運動	2月 ・ボール運動
3月 ・ボール運動	3月 ・ボール運動

## 3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・年中組、年長組を対象に、「体を動かし、使い方を知って運動を楽しむ」ことをテーマに体操活動を行った。広いホールや園庭、中庭などの環境を活かし、のびのびと体を動かせる場を設定した。
- ・活動では、年齢に応じた内容を取り入れ、マット運動・跳び箱・鉄棒・大縄・ボール運動など様々な運動に挑戦した。活動中、講師や担任が「ここをこうするとやりやすいよ」と動きのコツを示すと、子どもたちは真似して挑戦し、「できた!」「もう1回やりたい!」と声をあげる場面が見られた。また、「見てて!」と自ら技を披露する子に

対し、先生が「すごいね、上手だね」と声をかけると、さらに自信をもって取り組む姿があった。

- ・年長組のドッジボールでは、「ボールはここに投げてね」「こうすると当てやすいよ」とアドバイスを受けながら、ルールやボール操作のコツを理解し、友達と相談しながら戦略を考えて動く様子も見られた。年中組も、大縄やマット運動で「手はここに付けて」「こうやると回りやすいよ」と先生に声をかけられると、真剣に聞いて体を動かす姿があった。
- ・こうしたやり取りを通して、子どもたちは体を動かす楽しさを感じながら、できることを増やそうと意欲的に取り組む姿が育ってきた。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・先生が動きのコツを声かけしながら子どもと関わることで、子どもたちは安心して挑戦し、成功体験につなげられることに気付いた。
- ・友達の挑戦や先生の声かけを見たり聞いたりする中で、真似をしたり自分もやってみようとする意欲が高まることが分かった。
- ・できた経験を認める言葉がけによって、自信や主体的に取り組む姿勢が育つことを実感した。